

ステークホルダーエンゲージメント

体制

経営へのフィードバック体制

KDDIは、ステークホルダーの皆さまの声を経営プロセスに取り込んでいく体制を構築しています。

お客さまのご意見・ご要望については、月1回開催する「TCS委員会」で社長をはじめとする経営幹部が議論し、解決を図っています。株主・投資家の皆さまとは、株主総会や個別ミーティングで経営層が直接対話して課題を随時共有、「KDDIスマホ・ケータイ安全教室」などでうかがった地域の皆さまのご意見や、CSR調達アンケートなどから得られたお取引先さまの課題は、コーポレート統括本部長（代表取締役執行役員副社長）が議長を務めるCSR委員会に報告し、解決策を検討しています。CSR委員会での検討結果は経営会議に報告されます。

活動・実績

2015年度の取り組み

KDDIは「4つのCSR課題」に取り組むなかで、有識者の方々とのダイアログを通じてさまざまな活動へ助言などをいただいています。2015年度は、サプライチェーンCSRへの社会からの要請が高まるなか、CSR調達分野の見識・経験が豊富な有識者と企業の方をお招きし、CSR調達およびグリーン調達の深化について、ステークホルダーダイアログを実施しました。CSR調達を全社的な課題として経営で議論を深める必要がある一方で、各課題についてはお取引先さまとともに現地・現物で改善を繰り返すことの重要性を再確認しました。

また、経済人コーポレート日本委員会と国際連合「人権と多国籍企業及びその他の企業の問題」に関するワーキンググループが主催する「ビジネスと人権に関する国際会議」に参加し、各課題に関する現状と対処法などを確認しました。



ダイアログ・アーカイブ

Link Website

活動・実績

イニシアティブへの参画

KDDIは、豊かなコミュニケーション社会の発展に貢献するため、国内外のイニシアティブ・団体に参画し、リーダーシップを担うよう努めています。

■ 通信の国際標準化

情報通信に関する国際標準などを作成するITU（国際電気通信連合）の活動に積極的に参画しています。特に無線分野では、選挙で世界から12名が選ばれるRadio Regulation Board (RRB)の議長を務め、電波の有効かつ公平な利用のため、現行の規則で解決できない衛星通信や放送電波に関わる課題解決をリードしています。このほか、以下にある研究委員会 (Study Group:SG) および課題の議長、副議長を務めています。

ITUでの役職

- ・ ITU-R (無線セクター): RRB議長、SG4副議長 (衛星通信)
- ・ ITU-T (標準化セクター): SG3議長 (料金・政策)、SG9副議長 (映像伝送・ケーブルテレビ)、SG17副議長 (セキュリティ)
- ・ ITU-D (開発セクター): SG1 課題5議長 (ルーラル地域のICT)

■ 安心・安全な社会の構築

インターネット利用環境をはじめ、生活・暮らしに関わるさまざまな領域で安心・安全に貢献するよう努めています。その一環として、スマートフォンを安全に利用できる環境整備活動を行う「一般社団法人 日本スマートフォンセキュリティ協会」では、幹事会員として啓発活動などを主導しています。また、障がいのある方の活躍を推進する「一般社団法人 企業アクセシビリティ・コンソーシアム」には発起メンバーとして参画し、KDDI会長の小野寺 正が理事に就任しています。

参画している主なイニシアティブ・団体と役職

- ・ 一般社団法人 セキュリティ対策推進協議会:副会長
- ・ 一般社団法人 日本スマートフォンセキュリティ協会:副会長/理事
- ・ 特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA):副会長
- ・ 一般社団法人 企業アクセシビリティ・コンソーシアム:理事

■ 地球環境の保全

KDDIは、2009年6月に発足した「ICT分野におけるエコロジーガイドライン協議会」^(注)の一員として、エコロジーガイドラインの策定に参画し、省エネ機器の普及促進に取り組んでいます。また、本ガイドラインが定めるエコICTマークを取得し、環境配慮および環境負荷低減への取り組みの向上に努めています。

注 ICT機器およびデータセンターを調達する際に参照すべき省エネ指標の制定などを目的とした協議会。社団法人電気通信事業者協会、社団法人テレコムサービス協会、社団法人日本インターネットプロバイダー協会、一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会、特定非営利活動法人ASP・SaaSクラウドコンソーシアムで構成される。